



アイホールダンスコレクション vol.60

世界のパフォーマンス界に強烈な一撃！
アフリカの少年兵が語る戦場のリアル
ポスト・ピナ・バウシュ世代が切り開く新たな地平

Fumiyo Ikeda + Alain Platel + Benjamin Verdonck

Nine Finger

2010.2.10 wed.19:00 / 11 thu.(national holiday) 15:00 / 12 fri.19:00

Rosas Production **AI-HALL**

池田扶美代+アラン・プラテル+ベンヤミン・ヴォルドンク 『ナイン・フィンガー』

ローザスを代表するダンサー池田扶美代、フィジカルな俳優として注目を集めるベンヤミン・ヴォルドンク、Les Ballets C. de la B.を率いる振付家アラン・プラテルが出会い、実現した、過激にして慈愛に満ちた創造物。(英語上演・日本語字幕 / English presentation, Japanese subtitle)



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

Nine Finger

(2007年初演)

[構成・演出・振付・テキスト]

池田扶美代、アラン・プラテル、ベンヤミン・ヴォルドンク

[出演]

池田扶美代、ベンヤミン・ヴォルドンク

[日時]

2010.2.10(水) 19:00、11(木・祝) 15:00、12(金) 19:00

※上演時間約1時間、途中休憩なし

※各回の公演終了後、出演者によるポスト・トークを行います

[会場]

AI-HALL

[料金(全席指定・税込)]

○ 一般3,500円 ○ 学生&ユース(25才以下)2,000円

※学生&ユース券のお客様は、当日受付にて学生証が年齢の分かる書類をご提示ください。

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

※前売券発売の際、当日券の発売はいたしません。

[チケット発売日]11月14日(土)

[チケット取扱]

○電子チケットぴあ tel:0570-02-9999 [Pコード:399-393]
http://t.pia.jp/

○アイホール tel:072-782-2000

○JCDNダンスリザーブ(オンラインチケット予約) http://dance.jcdn.org/

助成:(財)地域創造

後援:ベルギー大使館、ベルギーフランドル交流センター **FLANDERS CENTER**

主催:(財)伊丹市文化振興財団・伊丹市

平成21年度文化庁芸術拠点形成事業



さいたま公演

2月6日(土)16:00、7日(日)16:00

彩の国さいたま芸術劇場/お問い合わせ:0570-064-939



池田扶美代 Fumiyo Ikeda(中)

1962年生まれ。1979年、モーリス・ベジャールのムードラ(ブリュッセル)に入学。同校でアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと出会い、1983年、ともにローザス結成。以来、ほぼ全ての作品の創作に携わり、出演。ローザスの多くの映画やビデオ作品でもコラボレーションを行う。またスティーヴ・バクストンの舞台を始め、ジャンルを超えて映画や演劇にも活動を広げる。2009年6月には、イギリスの脚本家・演出家ティム・エッチェルとのコラボレーションにより「in pieces」を創作している。

ベンヤミン・ヴォルドンク Benjamin Verdonck(左)

1972年生まれ。アントワープにある王立プレミッシュ音楽院の舞台芸術部門を卒業。2000年以降は、公共空間における演劇の持つ力と機能について集中的に探究。ブリュッセルやアントワープの中心地で、広場の樹上に小屋を設置したり、地上32mの高さに鳥の巣を製作したインスタレーションを発表。一匹の豚と3日間「対談」し、アメリカとイラクの間の緊張から生まれる混乱と困惑を表現した作品等も創作している。

アラン・プラテル Alain Platel(右)

1956年、ゲント生まれ。マイムやバレエを学んだ後、カナダ人振付家パーバラ・ピアースのワークショップを受講。1986年、ダンスカンパニー「Les Ballets C. de la B.」を創設。「パッハと憂き世」、「ウルフ」等の生演奏を用いたダンス・演劇作品で高く評価されている。不完全で傷つきやすい人間を作品のスタート地点に、ユーモアや活力、見かけ上の無秩序を通じて際立った作品を作り続ける。

池田扶美代、アラン・プラテル、ベンヤミン・ヴォルドンクの3人は「堪え難いもの」を振付けた

『ナイン・フィンガー』に取り組むにあたってきっかけとなったのは、ナイジェリア人の両親を持つワシントン生まれの作家ウゾディンマ・イウェアラの処女作、いまや誰もがその存在を認める少年兵のひとり、アグの独白で語られる「ビースツ・オブ・ノー・ネイション Beasts of No Nation」である。あまりの残酷な光景に耐えきれない少年の声が発せられ、吠える。抑えることなどできない。制御不可能な衝動は短いセンテンスとなり、切れ切れなリズムは獣の咆哮のようだ。もはや声音で表現できる状況ではない。英語でこの野性の少年を演じるベンヤミン・ヴォルドンクは、殺す痛みと快感、同時に純粹のまま死んでしまいたいという欲望そのものに化身して見事である。ヴォルドンクの身体はきりぎり舞いながら激しく四方八方に揺れる。フランスでは無名のヴォルドンクだが、彼のパフォーマンスはベルギーでは人々に衝撃を与えている。ブリュッセル行政センターの外壁数十メートルの場所に吊るした巣のなかで10日間「巣ごもり」したこともある。過剰をコントロールできているのはヴォルドンクの役者としての力が確かだからだ。その傍ら、やや後ろで、池田扶美代は舞台装置的に登場するが、次第に崩壊してゆく様子には目を見張るものがある。



「鮮やかな一撃」

池田、プラテル、ヴォルドンクは「考えがたいもの」に敢えて挑んだ。それも理性を持って。伝統的な作劇法とは一線を画し達人の仕事にふさわしい身体と肉声を使い、核心をあらわにした。3人は登場人物を語ろうとはしていない。少年の身体を貫き、恐怖の感情を取り除き消化しようとしている。どうといったことのないもの(油かすや段ボール箱など…) で瞬時に話題を変え獣性と憎悪の芽を植え付けてみせる。

『ナイン・フィンガー』に月並みな描写は一切なく、これまで舞台上で表現されてきた残忍性(ブリュタリティー)をくつがえすものだ。そして無論のこと、少年兵への愛にあふれている。

[ロジャー・ボワソー フランス/ル・モンド紙より抜粋]

◆関連企画

◎土曜日のワークショップ

土曜日の朝に、気軽に演劇やダンスを体験しませんか。ご家族やお友達と一緒に、ぜひご参加ください。

『リセット&リフレッシュ エクササイズ』

○講師:池田扶美代(ローザス/ダンサー)

○日時:2月13日(土)10時~12時 ○場所:アイホール イベントホール

○定員:20名/先着順 ○対象:どなたでもご参加いただけます。 ○料金:500円

◎「池田扶美代のダンス・ワークショップ」

○日時:2月13日(土)15時~18時 ○場所:アイホール イベントホール

○定員:20名/先着順 ○対象:経験不問。18才以上の意欲のある方。 ○料金:3,000円

[会場・お問い合わせ]

アイホール (伊丹市立演劇ホール)

〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹 2-4-1

○tel:072-782-2000

○fax:072-782-8880

○info@aihall.com

○http://www.aihall.com

火曜日休館

JR伊丹駅前/阪急伊丹駅より東へ徒歩7分

